

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第33週に18,508件の報告がありました。これまでで最も高い感染レベルを更新し続けています。これ以上の感染拡大を防止するため、一人一人が基本的な感染予防対策を徹底することが大切です。

2 レジオネラ症

今年の累計は25件となり、これまでで最多の2018年と同様のペースで報告されています。

レジオネラ症は、河川や土壌など自然界に生息するレジオネラ属菌の吸入などによって感染し、肺炎などを発症します。

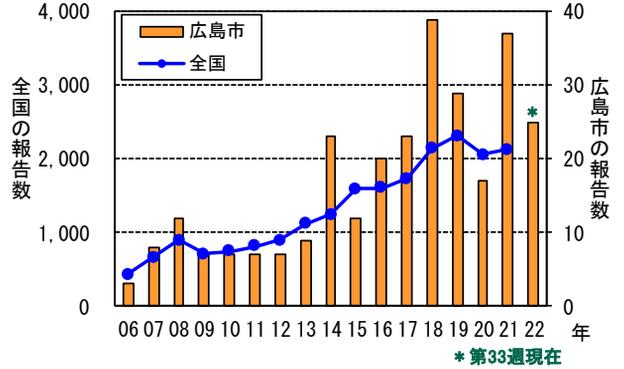
感染を予防するためには、不衛生な場所でのエアロゾル(細かい水のしぶき)の吸入を避けるとともに、感染源となる可能性のある設備(循環式浴槽、加湿器、冷却塔など)の衛生管理を適切に行い、レジオネラ属菌の増殖を防ぐことが重要です。

3 後天性免疫不全症候群

今年の累計は6件となりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見、早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

レジオネラ症年間報告数の推移



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	-	-	0.21			RSウイルス感染症	65	2.83	0.89	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.13	0.89		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	29	1.26	2.26			流行性角結膜炎	3	0.38	0.69	
	水痘	2	0.09	0.24		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	44	1.91	1.05			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.04			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	4	0.17	0.27			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	7	0.30	0.39			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第32週)は、お盆の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、今週(第33週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	日本紅斑熱	1	4	60歳代
4	レジオネラ症	1	25	80歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	6	20歳代・エイズ・推定感染地域: 国外
5	梅毒	2	208	20歳代、50歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	11	70歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
		2	8	83	1	79											150		3		2				
		7	9	69	4	101											144		2						
		4	13	46	1	67											135		3						
		4	2	31	-	49											65		2		1				
		-	3	29	2	44											65		3						
定点当たり	広島市	0.08	0.33	3.46	0.04	3.29	0.04	0.25	0.79	0.04	6.25	-	0.38	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.30	0.39	3.00	0.17	4.39	-	0.30	0.91	-	6.26	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.17	0.57	2.00	0.04	2.91	0.04	0.17	1.22	0.04	5.87	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.19	0.10	1.48	-	2.33	-	0.43	1.29	-	3.10	-	0.25	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	0.13	1.26	0.09	1.91	-	0.17	0.30	-	2.83	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全国	0.03	0.13	0.28	2.38	0.06	3.32	0.01	0.29	0.79	0.02	2.32	-	0.18	-	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-	-	-
		0.02	0.08	0.20	1.61	0.05	2.64	0.01	0.21	0.59	0.02	1.59	-	0.13	0.02	0.01	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(40.6℃) 発疹 口内炎 上気道炎	1	2022/06/11	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
ヘルパンギーナ	発熱(39.4℃) 口内炎	2	2022/07/10	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の神経系疾患	小脳失調	2	2022/06/28	咽頭拭い液 糞便	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.8℃)	0	2022/07/01	糞便	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.3℃) 筋炎 筋肉痛	44	2022/06/23	糞便	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.7℃) 気管支炎	0	2022/07/05	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第33週(8月15日～8月21日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
2,089	2,607	2,983	2,784	2,925	2,215	1,241	906	696	62	18,508

【累計報告数(8月21日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
22,327	23,564	26,521	25,471	25,260	16,248	8,870	6,467	5,387	263	160,378

「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566に連絡・相談しましょう。
全日24時間対応

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ
「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575FAX(082)277-5666E-Mail:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp